



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月4日

上場会社名 株式会社シーエーシー 上場取引所 東
 コード番号 4725 URL <http://www.cac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島田 俊夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 川真田 一幾 (TEL) 03(6667)8000
 経営統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 平成22年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	18,566	△8.6	1,031	△1.7	1,201	1.9	650	12.6
21年12月期第2四半期	20,311	—	1,049	—	1,178	—	578	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	32	45	—	—
21年12月期第2四半期	28	90	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
22年12月期第2四半期	31,501	—	20,347	—	62.7	981	22	
21年12月期	31,004	—	19,773	—	62.0	960	62	

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 19,739百万円 21年12月期 19,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
21年12月期	—	—	16	00	—	—	16	00	32	00
22年12月期	—	—	16	00	—	—	—	—	—	—
22年12月期（予想）	—	—	—	—	—	—	16	00	32	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	40,000	0.4	2,300	32.7	2,400	27.4	1,200	29.1	59	74

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「4. その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期2Q	21,541,400株	21年12月期	21,541,400株
22年12月期2Q	1,423,882株	21年12月期	1,543,882株
22年12月期2Q	20,055,198株	21年12月期2Q	19,997,518株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および発表日現在における仮定等に基づいて作成したものであり、不確実な要因等を含んでおります。上記業績予想に関する事項については添付資料をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 連結経営成績に関する定性的情報	2
(1) 概況	2
(2) 受注状況	2
(3) セグメント別の概況	2
2. 連結財政状態に関する定性的情報	2
(1) 資産、負債および純資産の状況	2
(2) キャッシュ・フローの状況	2
3. 連結業績予想に関する定性的情報	3
4. その他	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
5. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
6. その他の情報	10
(1) サービス別連結受注状況	10
(2) サービス別連結売上高	10
(3) 業種別連結売上高	10

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 概況

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調が継続しているものの、欧州の信用不安や海外景気の下振れ懸念などから、不透明感を抱えた状況にあります。

情報サービス産業においても、こうした先行き不透明感から企業のIT投資抑制傾向が継続し、引き続き厳しい状況となりました。

このような環境の下、当社グループでは、医薬BTOサービスをはじめとした、強みを持つ特化分野での受注・売上の拡大に努めるとともに、全社的なコスト低減に継続して取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、BPO/BTOサービスが増収となったものの、システム構築サービス、およびシステム運用管理サービスが減収となったため、前年同期比8.6%減少の185億66百万円となりました。

損益面については、原価低減努力を引き続き進めたものの、売上総利益は前年同期比0.5%減少の35億95百万円となりました。その結果、営業利益は前年同期比1.7%減少の10億31百万円、経常利益は前年同期比1.9%増加の12億1百万円、四半期純利益は前年同期比12.6%増加の6億50百万円となりました。

(2) 受注状況

金融機関向け開発案件の具体化が期初想定より遅れているほか、顧客による保守・運用コスト削減の影響を受け、引き続き厳しい受注環境となりました。

そのため、当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比9.7%減少の178億14百万円となりました。

(3) セグメント別の概況

<システム構築サービス>

信託、食品分野向けが減少したことなどにより、システム構築サービスの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.3%減少の76億71百万円となりました。

<システム運用管理サービス>

前年のシステムリプレース案件に伴うハードウェア売上の反動減があったほか、サービスおよび食品分野向けが減少したことなどにより、システム運用管理サービスの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比18.6%減少の74億94百万円となりました。

<BPO/BTOサービス>

医薬品の開発を支援する医薬BTOサービスが堅調に推移した結果、BPO/BTOサービスの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比50.6%増加の34億円となりました。

※BPO: Business Process Outsourcing BTO: Business Transformation Outsourcing

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億97百万円増加して315億1百万円となり、負債は、前連結会計年度末に比べて76百万円減少して111億53百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が2億69百万円増加したほか、評価・換算差額等が1億21百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べて5億73百万円増加し、203億47百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が11億51百万円あったほか、売上債権の減少額が17億47百万円、たな卸資産の減少額が2億84百万円あったこと等により、29億3百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出が1億74百万円、差入保証金の差入による支出1億89百万円、関係会社株式の取得による支出が5億27百万円あったほか、差入保証金の流動化による収入が8億57百万円あったこと等により、3億14百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が1億40百万円あったほか、配当金の支払額が3億19百万円あったこと等により、4億円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末においては、現金および現金同等物は前連結会計年度末比21億40百万円増加し、87億98百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成22年7月1日、事業構造改革に伴う希望退職者募集について発表しておりますが、応募者数が未確定であることから、当期業績への影響額は確定していません。そのため、現時点で通期連結業績予想の見直しは行っておりません。

4. その他

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準について、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間以後に着手した受注制作ソフトウェア開発のうち、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高及び損益に与える影響は軽微であります。

2. 企業結合に関する会計基準等の適用

当第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,459	6,354
受取手形及び売掛金	4,764	6,362
有価証券	1,904	619
商品	34	35
仕掛品	651	921
貯蔵品	9	23
繰延税金資産	235	207
その他	763	740
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	15,815	15,256
固定資産		
有形固定資産	881	891
無形固定資産		
のれん	2,349	2,426
その他	1,356	1,292
無形固定資産合計	3,706	3,719
投資その他の資産		
投資有価証券	8,476	7,592
繰延税金資産	1,830	1,956
その他	818	1,616
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	11,098	11,136
固定資産合計	15,686	15,748
資産合計	31,501	31,004

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,907	2,227
1年内返済予定の長期借入金	280	280
未払法人税等	515	288
賞与引当金	247	291
受注損失引当金	50	—
その他	2,243	2,135
流動負債合計	5,245	5,223
固定負債		
長期借入金	980	1,120
退職給付引当金	4,431	4,389
その他	496	497
固定負債合計	5,908	6,006
負債合計	11,153	11,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,702	3,702
資本剰余金	3,969	3,969
利益剰余金	13,448	13,179
自己株式	△1,493	△1,632
株主資本合計	19,626	19,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	414	246
為替換算調整勘定	△301	△254
評価・換算差額等合計	113	△8
新株予約権	46	36
少数株主持分	561	527
純資産合計	20,347	19,773
負債純資産合計	31,501	31,004

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	20,311	18,566
売上原価	16,698	14,970
売上総利益	3,613	3,595
販売費及び一般管理費	2,563	2,563
営業利益	1,049	1,031
営業外収益		
受取利息	16	5
受取配当金	122	162
持分法による投資利益	6	15
その他	26	26
営業外収益合計	171	210
営業外費用		
支払利息	0	12
投資事業組合運用損	19	16
その他	22	12
営業外費用合計	42	41
経常利益	1,178	1,201
特別利益		
その他	1	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除却損	28	17
投資有価証券評価損	7	—
合併関連費用	—	18
その他	1	17
特別損失合計	37	52
税金等調整前四半期純利益	1,142	1,151
法人税、住民税及び事業税	537	468
法人税等調整額	△5	△13
法人税等合計	531	454
少数株主利益	33	46
四半期純利益	578	650

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,142	1,151
減価償却費	155	183
のれん償却額	52	79
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△68	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	1,283	1,747
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△99	284
仕入債務の増減額 (△は減少)	△93	△317
その他	△588	△133
小計	1,784	2,952
利息及び配当金の受取額	139	168
利息の支払額	△0	△12
法人税等の支払額	△1,073	△205
営業活動によるキャッシュ・フロー	850	2,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△150
定期預金の払戻による収入	100	—
有価証券の取得による支出	△1,600	△700
有価証券の売却による収入	1,699	599
有形固定資産の取得による支出	△36	△46
無形固定資産の取得による支出	△236	△174
投資有価証券の取得による支出	△554	△102
差入保証金の差入による支出	—	△189
差入保証金の回収による収入	—	106
差入保証金の流動化による収入	—	857
関係会社株式の取得による支出	△355	△527
その他	38	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△944	△314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△140
リース債務の返済による支出	—	△28
自己株式の処分による収入	—	96
配当金の支払額	△299	△319
少数株主への配当金の支払額	△53	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352	△400
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	△47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△386	2,140
現金及び現金同等物の期首残高	7,525	6,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,139	8,798

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)					
	システム構築 サービス (百万円)	システム運用 管理サービス (百万円)	BPO/BTO サービス (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,848	9,204	2,258	20,311	—	20,311
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,848	9,204	2,258	20,311	—	20,311
営業利益	134	708	206	1,049	—	1,049

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)					
	システム構築 サービス (百万円)	システム運用 管理サービス (百万円)	BPO/BTO サービス (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,671	7,494	3,400	18,566	—	18,566
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,671	7,494	3,400	18,566	—	18,566
営業利益	580	421	30	1,031	—	1,031

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要なサービスの名称
サービスの種類、性質、業務形態等の類似性により下記の事業区分に区分しております。

システム構築サービス システムコンサルティング、システム開発、システム保守、インフラ構築、
パッケージインテグレーション

システム運用管理サービス 運用コンサルティング、システム運用、アプリケーション運用、
データセンター、ヘルプデスク/コールセンター

BPO/BTOサービス ビジネスプロセス・アウトソーシング、
ビジネストランスフォーメーション・アウトソーシング

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高がいずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) サービス別連結受注状況

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)		受注高増減	
	受注高	受注残	受注高	受注残	金額	増減率(%)
システム構築サービス	8,274	3,523	6,904	2,435	△1,370	△16.6
システム運用管理サービス	8,827	6,276	8,661	6,030	△165	△1.9
BPO/BTOサービス	2,637	3,745	2,249	5,371	△388	△14.7
合計	19,739	13,546	17,814	13,837	△1,924	△9.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) サービス別連結売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
システム構築サービス	8,848	43.6	7,671	41.3	△1,177	△13.3
システム運用管理サービス	9,204	45.3	7,494	40.4	△1,710	△18.6
BPO/BTOサービス	2,258	11.1	3,400	18.3	1,142	50.6
合計	20,311	100.0	18,566	100.0	△1,745	△8.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 業種別連結売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
金融	2,651	13.1	2,842	15.3	191	7.2
信託	2,271	11.2	1,881	10.1	△389	△17.1
医薬	5,039	24.8	5,892	31.7	852	16.9
食品	2,997	14.8	2,075	11.2	△922	△30.8
製造	1,340	6.6	1,458	7.9	117	8.8
サービス他	6,011	29.6	4,416	23.8	△1,595	△26.5
合計	20,311	100.0	18,566	100.0	△1,745	△8.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。